

地名と水害

土地のもつ性質を探る手がかり

地名の多くは、昔の人が特徴や目印としてその土地を呼んだ言葉が、代々受け継がれてきたものです。水に関連した言葉を含む地名がつけられている場合、かつて湿地や川が流れていた場所であったり、氾濫平野であることが少なくありません。このような場所は、大雨時などに水がたまりやすい、地震による揺れや液状化の被害を受けやすいといった土地である可能性があることを覚えておきましょう。

川や湿地などを表す地名の一例*

湿地や氾濫原を表す地名

語句	地名の例	語句	地名の例
アクツ	阿久津・芥川	ソネ	曾根・大曾根
アソ	阿蘇・麻生	ツル	都留・鶴川
ウキ	宇喜多・浮間	ニタ	仁多・仁井田
オダ	小田・織田	ヌタ	怒田・沼田
カモ	加茂・鴨川	フダ	札・布田
ケミ	検見川・花見	ムタ	牟田・無田
シュク	宿河原・宿毛	ワダ	和田・十和田

水がたまりたまりやすい場所を表す地名

語句	地名の例
イケ	溜池・池尻
カワチ	河内・川内
クボ	大久保・荻窪
フクロ	池袋・袋田

川の合流地点を表す地名

語句	地名の例
アイ	落合・相川
エダ	枝川・江田

●アクツ→アクタ、アクト、アケトなど、読みが変化していることもあります

*遠藤(2013)を編集

市町村の合併や土地の区画整理などにより新しい地名がつけられて、現在は土地の特徴を表す地名がなくなってきている場合もみられ、防災上注意すべき土地であることがわからなくなっていることがあります。

草加市そうかしの北部は、かつて「新田村」という水田しんでんむらが広がる農村でしたが、昭和30年の町村合併で「草加町」に変わりました。田を表す地名がついているところは洪水時に水につきやすい土地であることが多く、旧新田村も大部分が氾濫平野ですが、現在の地名からはそれを読み取ることができません。

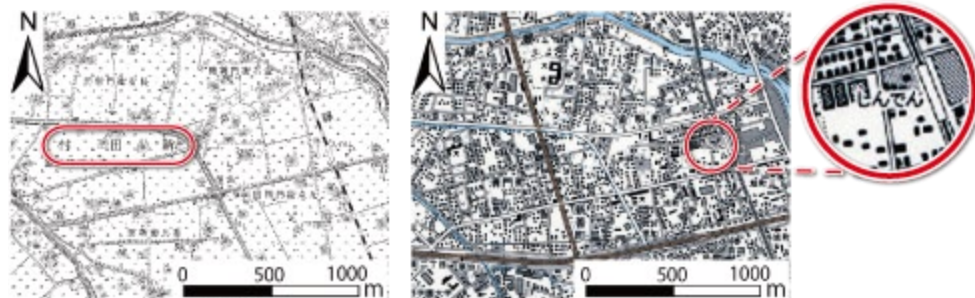


図2-6 埼玉県草加市の地名の変化
(2万分の1地形図「鳩谷」明治39年、2.5万地形図「越谷」平成17年を編集)
「新田駅」のように、駅名などには昔の地名が残っていることがあります。